

# 令和6年度事業報告及び 収支決算（案）

令和7年6月6日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

# 目 次

1	事業実施概況	1
2	事業実施状況	4
3	令和6年度決算財務諸表	
	令和6年度収支計算書	11
	財産目録	12
4	監査報告書	13

1 事業実施概況

(1) 令和6年度基本方針

令和6年度は、次の基本方針のもと下記の取組を実施した。

- ア 制度別・用途別作付計画の着実な実践による米価の安定化を目指す。特に飼料用米から主食用米への回帰を防ぐ。
- イ 環境変化に対応した福島県水田農業の再構築の取組を加速化する。農地集積や担い手確保の取組と併せた畑作物・園芸作物への作付転換を促進する。

(2) 需要に応じた米の生産・販売の推進

ア 令和6年産

- (ア) 県推進会議としては、令和6年産主食用米の「生産の目安」を前年産同様の53,100haと設定して、産地づくり通信、推進チラシによる情報発信、重点地域農業再生協議会・方針作成者との個別の意見交換を実施しながら取組の推進を図った。
- (イ) しかしながら、コロナ禍後の外食等業務用米の需要及び価格が回復基調にあること、一般品種による飼料用米の取組みに対する戦略作物助成の見直しによる飼料用米の減少等により、主食用米の作付面積は前年産比（＝生産の目安）3,400ha増の56,500haとなった。
- (ウ) 本県の作付転換の柱となっている備蓄米は令和5年産比806ha増加した一方、飼料用米は4,754ha減少した。
- (エ) 加工用米は前年産実績、計画を下回った。
- (オ) 輸出用米（新市場開拓用米）は前年産より36ha増加したが、計画を下回った。
- (カ) 麦、大豆、飼料作物、そば等の戦略作物は、畑作物産地形成促進事業や県単事業の活用を働きかけたものの、前年産並みもしくは微減となった。
- (キ) 全水稻作付面積は70,800haと前年より500ha減少し、生産基盤の縮小が進行している。

<制度別・用途別作付状況>

(単位：ha)

年産 項目	5年産	6年産		前年実績比 ③－①	計画比 ③－②	
	実績①	計画②	実績③			
主食用米	53,100	53,100	56,500	3,400	3,400	
非 主 食 用 米 等	備蓄米	4,753	5,350	5,558	806	208
	飼料用米	11,722	10,900	6,967	▲4,754	▲3,933
	新市場開拓用米	142	200	178	36	▲22
	WCS用稲	1,079	1,100	1,098	19	▲2
	加工用米	448	500	429	▲19	▲71
	米粉用米他	47	50	51	3	1
	計	18,190	18,100	14,281	▲3,909	▲3,819
全水稻作付面積	71,300	71,200	70,800	▲500	▲400	

<戦略作物の作付状況>

(単位：ha)

年産 項目	5年産	6年産		前年実績比 ③-①	計画比 ③-②
	実績①	計画②	実績③		
麦	340	350	377	36	27
大豆	921	1,060	885	▲ 36	▲ 175
飼料作物	1,607	1,570	1,557	▲ 51	▲ 13
そば	1,603	1,385	1,540	▲ 63	155
なたね	84	85	89	5	4
地力増進作物	5	5	1	▲ 4	▲ 4
高収益作物	764	895	731	▲ 33	▲ 164

注) 二毛作含む

#### イ 令和7年産

- (ア) 令和6年10月の国の食糧部会の基本指針において、令和7年産主食用米等生産数量は令和6年産米生産実績と同水準の683万トンが示されたことを踏まえ、本県産米の需要量や在庫水準等を基に、県推進会議として令和7年産主食用米の「生産の目安」を前年産実績と同じ56,500haと設定した。
- (イ) 地域農業再生協議会別の生産の目安は、原子力被災12市町村の営農再開を加速する観点から、500haを県で留保したうえで、令和6年産の実績が生産目安を下回った協議会へは令和6年産実績を配分し、その他の協議会には県全体の生産の目安からこれらを差し引いた面積を令和6年産実績の構成割合で按分して設定した。
- (ウ) 令和6年産米の価格動向について、相対取引価格が平成5年産以来の高価格で推移しており、生産者は主食用米への回帰の機運が高まっているものの、国内の人口減少や食生活の多様化などの影響で主食用米の需要量は年間10万トン程度減少することが見込まれているほか、米価高騰の影響で米消費の減少も懸念された。
- (エ) このため、主食用米の需給バランスを保ちながら、麦、大豆等の畑作物や収益性の高い園芸作物への作付転換など、需要に応じた生産を引き続き推進する必要があるため、3月に「産地づくり通信」を発行するなど、需要に応じた米づくりの実施を呼びかけた。
- (オ) 備蓄米は、食料安定供給の観点から重要であり、県優先枠31,606トンが設定されたものの、令和7年産米の買入入札は「環境が整うまで当面の間延期する」との方針が国から示され、現在まで行われていない。
- (カ) 組織体制としては、需要に応じた米生産を県全体の取り組みとして、より強力に推進するため、令和7年度より会長及び事務局長をJA福島中央会から福島県に移行するほか、副会長を2名体制とした。
- (キ) 情報発信を強化するため、米をめぐる情勢や県産米の価格動向等を4月からホームページに掲載し、毎月更新していくこととした。
- (ク) 加工用米や新市場開拓用米は、「コメ新市場開拓等促進事業」の活用を促し、実需と結びつけた低コスト栽培を推進した。

<制度別・用途別作付状況>

(単位：ha)

年産 項目		6年産	7年産	
		実績①	計画②	6年産実績との差 ②－①
主食用米		56,500	56,500	0
非 主 食 用 米 等	備蓄米	5,558	5,700	142
	飼料用米	6,967	7,000	33
	新市場開拓用米	178	250	72
	WCS用稲	1,098	1,100	2
	加工用米	429	600	171
	米粉用米他	51	50	▲1
	計	14,281	14,700	419
全水稻作付面積		70,800	71,200	400

<戦略作物の作付状況>

(単位：ha)

年産 項目		6年産	7年産	
		実績①	計画②	6年産実績と の差 ②－①
麦		377	368	▲9
大豆		885	1,013	128
飼料作物		1,557	1,525	▲32
そば		1,540	1,155	▲385
なたね		89	86	▲3
地力増進作物		1	5	4
高収益作物		731	826	95

注) 二毛作含む。畑地化を除く計画。

### (3) 水田活用の直接支払交付金の交付対象水田見直しへの対応

5年水張りルールについては、田畑輪換・ブロックローテーションを促すチラシを作成するなど生産者への周知を図ってきたが、令和7年4月、令和9年度以降の水田政策の見直しに伴い「5年水張りの要件」は求めないことが国から公表された。

#### (4) コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業

各地域農業再生協議会から要望のあった当該事業の産地・実需協働プランをとりまとめ、県取組計画書を作成したほか、採択となった地域については実績報告を行った。

## 2 事業実施状況

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
4 月	-	交付対象水田見直しに係るチラシを各地域農業再生協議会に配布
4 月 19 日	J A 福島ビル	需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換（福島県） ○農林水産省からの情報提供 ○県推進会議からの情報提供 ○意見交換 参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計 22 名
4 月 22 日	J A 福島ビル	福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 品種構成・品質向上対策検討専門部会 ○令和 6 年産米における穀物検定協会食味試験出品対応と今後の進め方について ○その他 参集者：県、県推進会議構成員 計 13 名
5 月 21 日	J A 福島ビル	令和 5 年度下期内部監査 監査員：2 名 出席者：県、中央会 計 6 名
5 月 24 日	福島県町村会	令和 5 年度監事監査 監事：2 名 出席者：県、中央会 計 8 名
5 月 29 日	J A 福島さくら飯野支店	需要に応じた生産・販売に関する意見交換（いわき市） ○水田農業をめぐる情勢について ○令和 6 年産米にかかる需要に応じた生産・販売の取組みについて ○その他 参集者：地域農業再生協議会、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議事務局 計 10 名

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
5月30日	J A福島ビル	<p>令和6年度第1回事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度下期内部監査の結果について</li> <li>○水田農業をめぐる情勢について</li> <li>○令和6年度第1回総会の開催及び提出事項について</li> <li>○規約等の一部改正（案）について</li> <li>○令和5年度事業報告及び収支決算（案）について</li> <li>○令和6年産飼料作物等の県基準単収の設定（案）について</li> <li>○令和6年産備蓄米における地域農業再生協議会別面積配置にかかる対応の考え方（案）について</li> <li>○その他</li> </ul> <p>参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計12名</p>
6月4日	杉妻会館	<p>令和6年度第1回総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報告事項</li> <li>報告第1号 令和5年度下期内部監査の結果について</li> <li>報告第2号 水田農業をめぐる情勢について</li> <li>○議題</li> <li>議案第1号 規約等の一部改正（案）について</li> <li>議案第2号 令和5年度事業報告および収支決算（案）について</li> <li>議案第3号 令和6年産飼料作物等の県基準単収の設定（案）について</li> <li>議案第4号 令和6年産備蓄米における地域農業再生協議会別面積配置にかかる対応の考え方（案）について</li> <li>○その他</li> </ul> <p>出席者：本人6団体、代理3団体、委任2団体</p>
6月5日	猪苗代町役場	<p>需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換（猪苗代町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水田農業をめぐる情勢について</li> <li>○令和6年産米の需要に応じた生産・販売の取組について</li> <li>○その他</li> </ul> <p>参集者：地域農業再生協議会、方針作成者、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議事務局 計18名</p>

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
6月6日	会津若松市役所河東支所	需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換（会津若松市） ○水田農業をめぐる情勢について ○令和6年産米の需要に応じた生産・販売の取組について ○その他 参集者：地域農業再生協議会、方針作成者、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議事務局 計15名
6月7日	—	コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業県取組計画を国へ承認申請
6月17日	—	飼料作物等の県基準単収の設定（通知） 各地域農業再生協議会、県、県推進会議構成員あて通知
7月4日	—	コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業の採択を実施主体へ通知 ○コメ新市場開拓等促進事業 新市場開拓用米 66名 1,812,885㎡ 加工用米 85名 2,329,105㎡ ○畑作物産地形成促進事業 大豆 3名 785,652㎡ 高収益作物（トマト） 1名 2,855㎡ 高収益作物（ネギ） 1名 84,794㎡
7月下旬	—	飼料作物等の県基準単収の設定にかかるチラシを各地域再生協議会に配布
9月2日	県自治会館	水田農業における需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換（福島県） ○農林水産省からの情報提供 ○県推進会議からの情報提供 ○意見交換 参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計17名
11月12日	J A福島ビル	令和6年度第2回事務局会議 ○令和7年産米に向けた対応の基本的考え方（素案）について ○その他 参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計11名
11月14日	J A福島ビル	令和6年度上期内部監査 監査員：2名 出席者：県、中央会 5名

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
11月19日	(web会議)	<p>令和7年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会</p> <p>○令和7年産米に向けた対応の基本的な考え方（素案）について</p> <p>○その他</p> <p>出席者：地域農業再生協議会、方針作成者、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計131名</p>
12月2日	JA福島ビル	<p>令和6年度第3回事務局会議</p> <p>○令和6年度上期内部監査結果報告</p> <p>○水田農業をめぐる情勢</p> <p>○令和6年度第2回総会の開催及び提出事項について</p> <p>○令和7年産米の取り組みの基本方針（案）について</p> <p>○麦・大豆推進方針（案）について</p> <p>○令和7年産米の地域の合理的な単収の設定（案）について</p> <p>○その他</p> <p>参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計15名</p>
12月17日	ふくしま中町会館	<p>令和6年度第2回総会</p> <p>○報告事項</p> <p>報告第1号 令和6年度上期内部監査結果報告</p> <p>報告第2号 水田農業をめぐる情勢</p> <p>○議題</p> <p>議案第1号 令和7年産米の取り組みの基本方針（案）について</p> <p>議案第2号 令和7年産米の地域の合理的な単収の設定（案）について</p> <p>出席者：本人5団体、代理3団体、委任3団体</p>
12月17日	ふくしま中町会館	<p>需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換会（福島県）</p> <p>○東北農政局からの情報提供</p> <p>○福島県水田農業産地づくり対策等推進会議からの情報提供</p> <p>○意見交換</p> <p>出席者：県、県推進会議構成員、東北農政局、東北農政局福島県拠点 計19名</p>

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
12月26日	パルセイ いざか	令和7年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会 ○水田農業をめぐる情勢について ○令和7年産米の取り組みの基本方針について ○福島県産大豆・麦の推進方針について ○令和7年産米の地域の合理的な単収の設定について ○その他 出席者：地域農業再生協議会、方針作成者、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計110名
1月31日	JA福島 ビル	令和6年度第4回事務局会議 ○令和6年度第3回総会の開催及び提出事項について ○水田農業をめぐる情勢 ○令和7年産米の地域の合理的な単収の設定について ○令和7年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進について（案） ○令和7年度産地交付金について（案） ○規約・諸規程の改正（案）について ○その他 参集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計14名
2月10日	ふくしま 中町会館	令和6年度第3回総会 ○報告事項 報告第1号 水田農業をめぐる情勢について 報告第2号 令和7年産米の地域の合理的な単収の設定について ○議題 議案第1号 令和7年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進（案）について 議案第2号 令和7年度産地交付金（案）について 出席者：本人9団体、代理2団体

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
2月14日	(web会議)	<p>令和7年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水田農業をめぐる情勢について</li> <li>○令和7年産米の地域の合理的な単収の設定</li> <li>○令和7年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進について</li> <li>○令和7年度産地交付金について</li> <li>○令和7年度水田農業関係予算等について</li> </ul> <p>出席者：地域農業再生協議会、方針作成者、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計119名</p>
2月29日	—	畑作物産地形成促進事業（令和7年産）の要望提出
3月	—	産地づくり通信第24号発行
3月17日	JA福島ビル	<p>令和6年度第5回事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水田農業をめぐる情勢について</li> <li>○「畑作物産地形成促進事業」及び「コメ新市場開拓等促進事業」等の取り組み状況等について</li> <li>○令和6年度第4回総会の開催及び提出事項について</li> <li>○令和7年度事業計画及び収支予算（案）について</li> <li>○令和7年度負担金の賦課及び徴収方法（案）について</li> <li>○事務経費に係る費用の負担に関する協定書（案）について</li> <li>○事務手続き等に関する付帯決議（案）について</li> <li>○規約・諸規程の改正（案）について</li> <li>○副会長の選任について</li> <li>○令和7年産米における穀物検定協会食味試験出品銘柄と今後の取り組みのすすめ方（案）について</li> <li>○その他</li> </ul> <p>出席者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計16名</p>

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
3月24日	ふくしま 中町会館	令和6年度第4回総会 ○報告事項 報告第1号 水田農業をめぐる情勢について 報告第2号 「畑作物産地形成促進事業」及び「コメ新市場開拓等促進事業」の取り組み状況について ○議題 議案第1号 令和7年度事業計画及び収支予算（案）について 議案第2号 令和7年度負担金の賦課及び徴収方法（案）について 議案第3号 事務経費に係る費用の負担に関する協定書（案）について 議案第4号 事務手続き等に関する付帯決議（案）について 議案第5号 規約・諸規程の改正（案）について 議案第6号 副会長の選任（案）について 出席者：本人5団体、代理2団体、委任4団体

### 3 令和6年度決算財務諸表

#### 令和6年度収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

##### 【収入の部】

(単位:円)

科目		予算額 A	決算額 B	予算対比増減 C = B - A	備考
大科目	中科目				
負担金	負担金	2,000,000	2,000,000	0	県 1,000,000 中央会 1,000,000
補助金	水田農業改革支援事業補助金	5,500,000	5,500,000	0	
前年度繰越金	一般管理費繰越金	700,000	803,742	103,742	
収入合計		8,200,000	8,303,742	103,742	

##### 【支出の部】

(単位:円)

科目		予算額 A	決算額 B	予算対比増減 C = B - A	備考
大科目	中科目				
管理費	一般管理費	8,200,000	7,909,965	△ 290,035	
支出合計		8,200,000	7,909,965	△ 290,035	

##### 【差引収支差額】

393,777 円

注) 予算額 Aは、令和5年度第4回総会（令和6年3月28日開催）で決定した予算額

財 産 目 録

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

摘 要	金 額	
	内 訳	合 計
I 資産の部		
1 預金		420,337
① 普通預金	420,337	
資産合計	420,337	420,337
II 負債の部		26,560
1 未払金	26,560	
(内訳)	20,180	
・ 2月コピー代	6,380	
・ 3月分振込手数料		
負債合計	26,560	26,560
正味財産		393,777

# 監 査 報 告 書

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの福島県水田農業産地づくり対策等推進会議の事業の執行を監査しました。

その結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法の概要

監事は、事務局から事業の報告を聴取し、重要な書類等の閲覧および財産の状況を調査し、業務の報告を求めました。

また、会計帳簿等の調査を行い、事業報告書、収支決算書および財産目録について精査を加えました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、事業の実施状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 財産目録は、記載すべき財産を正しく記載しているものと認めます。

令和7年5月19日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

監 事 小 松 信 之



監 事 安 田 清 敏

